

テーマ：集める


ねらい

- ① 集めたいものを「欲しい」と伝えることができる。
- ② 指定の場所に集めることができる。


欲しいものを伝えて、コミュニケーションを取りましょう。

例1：生徒はVOCAで特定の物を要求します。

使用するVOCA：アイトークウィズレベル / クイックトーカー




支援者はVOCAの各ボタンに「私は～が欲しい」と、物の名前を録音します。VOCAにアイテムの絵記号（写真・シンボル）を貼り付けます。




生徒はVOCAで、「私は（物）が欲しい」と言います。

例2：生徒は表示から対象の物を集めます。




支援者は、表、机、他のところに選択肢を配置します。そこに3つの選択肢（2つ正解、1つ間違い）を用意します。個々のニーズと能力に応じて選択肢を調整します。確実な方法：3つの選択肢すべてを集めることができるようにします。



生徒は、指差し、接触、視線、言葉などで、集めたい物を選びます。


例3：生徒は大切な物を片づけたり、入れ物に集めます。



支援者は、机や膝上のトレーに他のアイテムと一緒に集めたアイテムを置いて、机の端に入れ物を固定します。


選択肢：ファスナーバッグに1つ以上のアイテムを入れると、つかむことが楽になります。

確実な方法：正しい選択肢のみを配置します。



生徒はアイテムを片づけたり、入れ物に集めます。

ポイント

- 
- ▶ VOCAの選択肢が多いものを使うと、生徒が欲しいものを選ぶ自由度が上がります。